

2009年11月15日

環境・CSR・サステイナブル経営に取り組まれている企業・組織  
ご担当 各位

特定非営利活動法人 環境経営学会  
副会長 木俣 信行

## 「サステイナブル経営診断2009」のご案内

拝啓 爽秋の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より私どもの学会活動へのご理解とご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

さて、私ども特定非営利活動法人環境経営学会は、2000年の発足以来今日に至るまで、企業・組織が環境対応や社会対応を十分に果たしながら持続的な発展を遂げていくために、いかなる課題に取り組まなければならないかを明確にするために、企業の皆様と協働して研究してまいりました。

その一環として、学会では持続可能な社会の構築に貢献する組織経営のあるべき姿を描き、これに沿った経営行動を詳細に記述し、これを基準として組織行動を評価する手法を科学技術振興機構の助成を受けて研究開発し、評価システムとして構築致しました。そして、この評価システムを使って「環境経営格付」、「サステイナブル経営格付/診断」などとして通算7回にわたり、主要な企業の皆様と共同で経営評価活動を実施してまいりました。

こうした活動の実績を基に、このたび評価体系を改善するとともに、名称を活動実態に合わせて「サステイナブル経営診断」と改め、2009年度の活動を実施することといたしました。

皆様におかれましては、「サステイナブル経営診断2009」募集要綱をご覧いただき、当該活動へのご参加をご検討いただければ幸甚に存じます。

なお、「サステイナブル経営診断2009」の狙いや特徴、評価体系、実施方法などについて詳細にご説明いたしたく、別紙のとおり、東京、大阪において「経営研修会」を開催させていただきます。ご多用中とは存じますが、多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

(連絡先)

特定非営利活動法人 環境経営学会  
経営診断推進委員会

〒108-0073 東京都港区三田3-1-3MKビル

e-mail: [smf@smf.gr.jp](mailto:smf@smf.gr.jp)

電話: 03-5444-2055 ファックス: 03-5444-2056

2009年10月30日

## サステイナブル経営診断2009（通算第8回） 募集要綱

特定非営利活動法人 環境経営学会  
(Sustainable Management Forum of Japan)  
会長 山本 良一

私ども環境経営学会は2000年の発足以来現在に至るまで、企業・組織が環境対応や社会対応を十分に果たしながら発展し続けていくために、いかなる課題に取り組まなければならないかを明確にするために、日本の第一線の企業と協働して研究してまいりました。

新しい時代は企業経営が産業革命以来経験したことのないような試練をすべての経営者に課すものです。それは大気や土壌、水の汚染対策に始まり、現在では省エネルギー、地球温暖化、人権、企業モラルなどきわめて多岐にわたる新しい課題を抱えているだけでなく、企業は社会環境や地球環境を改善、再生し、持続可能な社会の構築のために相応の社会的な貢献を為すことを期待されるに至っております。

このような状況を踏まえ、学会では、企業・組織の経営や環境問題に関心を寄せる研究者、専門家、企業人など産学一体となって、持続可能な社会の構築に貢献する組織経営のあるべき姿を描き、これに沿った経営行動を詳細に記述し、「環境経営格付」、「サステイナブル経営格付/診断」として通算7回、主要な企業、述べ250社の皆様との協働により経営評価を実施してまいりました。

このたび、これまでの成果を基に改善を行い、名称を実態に合わせて「サステイナブル経営診断2009」として実施するべく、現在準備中であります。

特定非営利活動法人である学会が、研究者、経営者や企業出身者、一般市民、などの広い層からなるボランティアを統合してこのような活動をしている例は他にありません。企業・組織経営に当たられている皆様のご理解とご支援を切に期待する所以であります。

このサステイナブル経営診断2009へのご参加企業に提供される学会の知的財産または効用は、参加形態（下記「3」参照）によって範囲は異なりますが、全体としては次の通りです。

- ① サステイナブル経営診断2009「経営評価調査票」及び「経営評価手引き」
- ② サステイナブル経営研修会への出席
- ③ エビデンス確認・評価のためのヒアリング/経営トップインタビューを通じての情報交換
- ④ 評価項目別評価結果と「サステイナブルマネジメント・ツリー図」及び「総合評価書」
- ⑤ ツリー図の学会公式ホームページへの掲載、環境経営学会研究報告大会での発表、公表

つきましては、環境経営、CSR経営、サステイナブル経営に取り組まれておられる企業の皆様には、本学会の「サステイナブル経営診断2009」に是非ご参加いただき、経営診断、経営改善にお役立ただくようご案内申し上げます次第であります。詳細は下記のとおりであります。

— 記 —

### 1. サステイナブル経営診断活動の概要

- ① 経営研修会の開催（12月上旬 東京、大阪）：持続可能な社会の構築に貢献するために、企業に求められている環境問題、社会的責任への取組みの方向性、あり方に係わる経営評価システム等について、「経営評価調査表」、「手引き」を教材に、経営研修会を開催
- ② 経営診断の手順：

- ・ 参加企業・組織は「経営評価調査票」と「手引き」により自己評価し、その結果を学会に提出していただく。
  - ・ 企業の自己評価結果に対して、第三者として公平な立場でボランティアによる経営評価委員が企業・組織側にヒアリングし、エビデンスを確認し、第1次経営評価を実施する。
  - ・ その間、学会幹部による経営トップインタビューを実施、サステイナブル経営理念等を確認する。
  - ・ 第1次経営評価結果について、妥当性・公平性・公正性を担保するために、判定委員会で審査して最終評価・診断を決定。「サステイナブルマネジメント・ツリー図」に表現する。
  - ・ サステイナブル経営「総合評価書」を作成、ツリー図と共に参加企業にご報告する。
- ③ 結果の公表
- ・ 経営診断参加企業の取組み状況について広く社会全体に周知するために、原則としてマスメディアに公表し、学会ホームページ上にサステイナブルマネジメント・ツリー図を掲載する。

## 2. 経営診断2009の概略スケジュール（予定）

- 2009年10月：サステイナブル経営診断2009 参加企業募集開始
- 11月上・中旬：説明会（第1回 11月5日、第2回11月11日、実施済み）
- 12月上旬：経営研修会開催（12月3日、8日 東京にて、12月4日 大阪にて）
- 12月：組織・企業の自己評価開始
- 2010年1月末：自己評価調査票提出締め切り
- 2月～3月：学会の経営評価委員による分析、ヒアリング、経営インタビュー
- 4月：経営評価委員による経営評価・診断終了、判定委員会始動、
- 4月下旬：経営診断結果の企業への通知／提訴委員会始動
- 4月下旬：経営診断結果確定、3点セット（総合評価書、調査票、ツリー図）ご報告
- 5月～6月：学会年次研究発表大会において結果発表（メディア）／活動終了

## 3. 参加パターンと参加費

経営診断活動については学会会員を中心としたボランティア活動として進めますが、旅費、通信費、印刷費など活動の原資としての次の参加費を申し受けます。

- ・ タイプⅠ：経営診断のフルメニュー参加（①経営研修会、②全評価項目評価/診断、③経営評価委員によるヒアリング、インタビュー等、④3点セットのご報告）  
：参加費20万円（初参加の場合 参加費25万円）
- ・ タイプⅡ：経営診断の部分参加（①経営研修会、②企業の選択する項目の評価/診断）  
：参加費10万円～15万円（ヒアリングはオプション）
- ・ タイプⅢ：手引き等経営診断ツールの購入（①経営研修会のみ）：参加費5万円

－以上－

## 「サステイナブル経営診断2009」経営研修会の実施要領

### I 開催日時、会場

(東京) 日時：(1回目)平成21年12月3日(木) 10:00~17:00

(2回目)平成21年12月8日(火) 10:00~17:00

会場：赤坂区民センター(東京都港区赤坂4-18-13 TEL:03-5413-2711)

(大阪) 日時：平成21年12月4日(金) 10:00~17:00

会場：大阪府ドーンセンター(大阪府男女共同参画青少年センター)

(大阪府中央区大手前1-3-49 TEL:06-6910-8500)

### II カリキュラム内容

- ・「サステイナブル経営診断2009」の狙いと特徴
- ・経営、環境、社会分野別経営評価体系の詳細

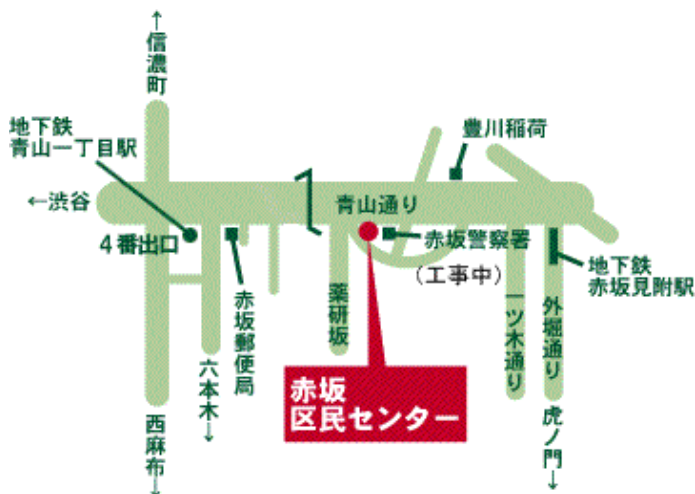
### III 講師：環境経営学会幹部

### IV 参加費：5万円/1社(1社3名を限度)

### V 参加申込：上記の日程のうち、ご都合の良い日をご指定の上、Eメールにて申し込みください。

e-mail：[smf@smf.gr.jp](mailto:smf@smf.gr.jp) 電話 03-5444-2055 ファックス：03-5444-2056

東京会場(赤坂区民センター)へのアクセス



大阪会場(大阪府ドーンセンター)へのアクセス

